

### ノーマーク・ノーマットの原則

佐野議員 目標と成果による区政運営は、職員のやる気を起こし、生産性を上げることに基本であり、その評価には、ノーマーク・ノーマットの原則を入れるべきだ。職員数削減で人件費は減ったが、一方、超過勤務手当は年々増えている。職員の健康管理のためにも、人事担当として把握し、対応すべきではないか。

答 計画的な職員削減と行政需要の増大で、職員一人あたりの仕事量が増えた。また、職員の年齢構成が上がり、時間単価も上がった。これらのことから超過勤務手当支給総額が増えたが、超過勤務の命令にあたっては、職員の健康管理、公務の効率性などを十分に考え、縮減に努める。

### 公共スペースの有効活用

近藤議員 区はこの5年間で576人の職員を削減している。これは保育園や図書館など本庁以外のサービスの民営化によるもので、本庁職員はほとんど減っていない。人員削減と人員配置、土地に対するコスト意識を持ち、スペースの有効活用を考えていくべきではないか。

答 ①地域センターは区民活動センターに転換し、窓口は5カ所に集約する計画だ。②統合に際しての改築の中で一定の校庭面積を確保したい。③校庭は使用しているが体育館は利用していない。児童館事業は子どもの状況や地域の実情にあわせた形で見直していく。④増額の努力はしたい。PR活動を含め、図書館活動を活性化させたい。

### 10か年計画と職員構成

近藤議員 財政状況が厳しいなか、今後さらに、職員構成の高年齢化が見込まれる中野区で、どのような区民サービスを発信し、どのような「小さな区役所」をつくるのか。

佐野議員 現行の給与体系は年功序列型で、やりがいや業績を反映するしくみになっていない。23区共通の問題であり、中野区がイニシアティブをとって区長会に提起し、改革すべきではないか。

### 10か年計画

大泉議員 新しい中野をつくる10か年計画案が公表されたが、施設の再編計画が掲載されていない。また、この計画を推進するうえで、個々の事業についての財源の見直しは欠かせない。基本構想、10か年計画の政策体系を完成させるために施設再編計画や、財政計画を明確に示してはどうか。

岩永議員 ①地域センターを、貸会場のな区民活動センターにするのは、区民参加の自治と活動の基盤を崩す。窓口サービスの後退では、②学校再編により児童・生徒1人当たりの校庭面積が国の基準以下になるのでは。③学校の学童クラブは校庭や体育館などを自由に使っているのか。現在の児童館事業はどうか。④区立図書館の登録者が減り、図書購入費は23区で16番目。図書などの購入費を増額し、利用しやすい図書館に改善をすべきでは。

### 事業部制における決算

飯島議員 16年度の予算編成方針の中で、事業部ごとに歳入歳出の決算を行うこと、実質収支が生じた場合の扱いなどを示しているが、今回提出された各部の決算では、実質収支について触れられていない。

町会への支援を進めてほしい。町会への支援を進めてほしい。今後の支援策としてどのようなことを考えているか。

山崎議員 区税や特別区交付金などの一般財源は、景気の動向に大きく左右される。継続的に安定した財政運営を行うには、的確な歳入見込みと、年度間調整のための財政調整基金を、適切に積み立てることが必要と思うがどうか。

山崎議員 義務的経費が増加すれば、財政は今まで以上に硬直し、真に区民に必要な事業ができなくなる。新しい中野をつくる10か年計画を実施可能な計画とするには、聖域を設けない経費の抑制が必要と思うがどうか。

山崎議員 義務的経費が増加すれば、財政は今まで以上に硬直し、真に区民に必要な事業ができなくなる。新しい中野をつくる10か年計画を実施可能な計画とするには、聖域を設けない経費の抑制が必要と思うがどうか。

## 防災

### 河川水位監視カメラの増設

平島議員 今回の集中豪雨では急激に水位が上昇し、サイレンが鳴るのが遅れた。区内の河川水位監視カメラは、江古田川に1カ所、神田川に3カ所設置されているが、妙正寺川には1カ所も設置されていない。妙正寺川周辺には河川より低い土地がかなりある状況を考えてみると、監視カメラの整備が必要なのではないか。

吉原議員 水害時、防災行政無線の音が聞こえないとの声が多かった。雨が猛烈に降れば雨戸やドアを閉めるなど、外部と遮断するため、音量に問題があったのではないかと、今回、水害にあった地域だけでも、音声が行き届くよう、アンプやスピーカーを強力なものに変えるなど、早急に設備を改善すべきではないか。

はつとり委員 DVについては結果の後始末ではなく、防止という観点からの取り組みが重要だ。防止に向けた取り組みとして区内関係機関との連絡会を設置してきたが、その成果と課題をどのようにとらえているか。

## 女性

### DV防止対策

山崎議員 義務的経費が増加すれば、財政は今まで以上に硬直し、真に区民に必要な事業ができなくなる。新しい中野をつくる10か年計画を実施可能な計画とするには、聖域を設けない経費の抑制が必要と思うがどうか。

山崎議員 義務的経費が増加すれば、財政は今まで以上に硬直し、真に区民に必要な事業ができなくなる。新しい中野をつくる10か年計画を実施可能な計画とするには、聖域を設けない経費の抑制が必要と思うがどうか。

山崎議員 義務的経費が増加すれば、財政は今まで以上に硬直し、真に区民に必要な事業ができなくなる。新しい中野をつくる10か年計画を実施可能な計画とするには、聖域を設けない経費の抑制が必要と思うがどうか。

### 水害対策

はつとり委員 ①災害時の安否確認は、命にかかわる重要な問題であるが、個人情報との関係など難しい問題もある。適切なガイドラインの策定を行うなど、早急に検討を始めるべきと思うがどうか。

飯島議員 国の防災基本計画では、高齢者、障害者、外国人など災害時要援護者に配慮したきめ細かな施策を、他の福祉施策との連携の下に行う必要性がうたわれている。これについて、区の地域防災計画では、どういう配慮がされているのか。明確に位置づけ、取り組むべきではないか。

むとう議員 03年4月に区内初の認知症高齢者グループホーム「ゆうあい」、05年6月に「鉄庵」が開設された。「ゆうあい」の入所条件は3年前から区に住居票がある方ということだが、地方でひとり暮らしの高齢者が子どもと近くに来なければならぬ。

## 保健・福祉

### グループホーム

山崎議員 義務的経費が増加すれば、財政は今まで以上に硬直し、真に区民に必要な事業ができなくなる。新しい中野をつくる10か年計画を実施可能な計画とするには、聖域を設けない経費の抑制が必要と思うがどうか。

山崎議員 義務的経費が増加すれば、財政は今まで以上に硬直し、真に区民に必要な事業ができなくなる。新しい中野をつくる10か年計画を実施可能な計画とするには、聖域を設けない経費の抑制が必要と思うがどうか。

山崎議員 義務的経費が増加すれば、財政は今まで以上に硬直し、真に区民に必要な事業ができなくなる。新しい中野をつくる10か年計画を実施可能な計画とするには、聖域を設けない経費の抑制が必要と思うがどうか。